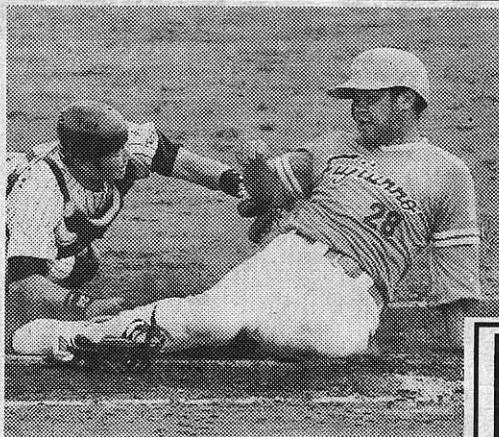


か 拍 す



△フジウノノ野球クラブ・自衛隊富士クラブV一回裏エラーでフジウノの木下がホームイン(捕手・佐藤)

初陣 自衛隊富士クラブ キツくイ洗礼

都市対抗野球静岡第一次予選

▽1回戦	(富士)
自衛隊富士クラブ	40 000
フジウノノ野球クラブ	83 28X
(5回コールド)	214

(自) 井上、鈴木、市橋、佐藤
(フ) 松尾、甲斐、山本
困木下2、塚本(フ)▽三塁打||佐藤(自)杉山(フ)▽二塁打||木下、小林、遠藤、山本(フ)

初回4点先取も:

第68回都市対抗野球静岡地区第一次予選(前期)は十一日、1、2回戦5試合を行っ

た。富士球場では今大会が初陣となる自衛隊富士クラブが、強豪・フジウノノクラブと対戦。初回、相手の2失策などで4点をリードしたが、その裏に8点を奪われ意気消沈。3ホームを含む14安打を浴び、4-21(5回コールド)で敗れた。

ところが「あんな速い打球が飛んでくるなんて」と堀和則主将(三)は、ぼう然と立ちつくした。普通なら内野手がとるべき打球が次々と外野へ転がる。「防衛する」時間はかり過ぎてゆき、体力なら自信がある選手たちも、後半はバテバテの表情だった。

約半年の訓練の成果は出なかった。一回表に自衛隊が七番・佐藤克政(三)のタイムリ一三塁打などが飛び出し、なんと4点を先制。最初の守りにつくまで、選手の誰もが勝てると思った。

こしにいく始末。平和・日本を象徴する光景だった。次の公式戦は予定では一年後のこの大会までないが「九月に新入隊員も入って層が厚くなる。これを機にみんな変わると思う」これからが本当の意味での戦闘開始だ。(大山 雄一郎)

▽1回戦	(8回コールド)
中電硬式野球クラブ	011 000
ヤマハ発電機誠和クラブ	400 020
(中) 池ヶ谷、原、宮野	21 92
(ヤ) 新井、白井、高森	
困鈴木啓(ヤ)▽二塁打 安間、佐藤(ヤ)曾根(中)	
▽同	
浜松ウナポンス	010 01
静岡硬式野球倶楽部	393 2X
(5回コールド)	172

静	山田、森田、後藤
山	石川、実石、杉山、石切
山	困田造、杉山(静)後藤(浜)
山	▽三塁打 福島(静)▽二塁打 宮城、石切山岡田、田造(静)
▽2回戦	
ヤマハ発電機誠和クラブ	000 211
静岡硬式野球倶楽部	022 110
(ヤ) 加藤、白井、丸尾、高森	003 4
森川	020 020
(静) 松浦、金田、実石、杉山	8 10
困藤田、鈴木和(ヤ)杉本(静)	
▽三塁打 佐藤(ヤ)▽二塁打 安間、佐藤(ヤ)宮城2、長島(静)	
▽同	
フジウノノ野球クラブ	202 011
富士クラブ	010 004
(フ) 松原、杉山、山本	004 511
(富) 佐野、鈴木直、佐藤	
困村松、遠藤(フ)▽三塁打 木下、井藤(フ)▽二塁打 遠藤、加藤(フ)大原、藤田(富)	